

設計書（金抜き）

札幌市時計台防火対策概略検討業務

積算区分	単価	数量	金額（円）	
1 直接人件費		41		別紙 歩掛参照
①現地調査		3.0人/日		技師C
②現在の管理体制に応じた追加防災設備抽出		6.0人/日		技師C
③追加防災設備（案）の比較検討		6.0人/日		技師C
④最適追加防災設備（案）の条件整理		24.0人/日		技師C
⑤電気設備検討		2.0人/日		技師C
2 諸経費		一式		
3 技術料等経費		一式		
合計（端数処理）				
消費税相当額				10%
総合計				

●検討内容

人工

1 現地調査

3

・現地確認をおこない、防災設備状況や現地管理体制の把握および札幌市が作成した別紙【防火対策ガイドライン対応チェック結果】の妥当性確認をおこなう。確認結果および施設へヒアリングした結果については一覧に整理し提出すること。

①現地防災設備状況確認

2

②施設へのヒアリングおよび結果とりまとめ

1

2 現在の管理体制に応じた追加防災設備の抽出

6

・札幌市が作成した別紙【防火対策ガイドライン対応チェック結果】を踏まえ、時計台として具体的な対応策が必要と想定される以下のリスクに対して、それぞれ適応可能な追加防災設備（案）を複数案抽出

①火災の早期覚知

1

②初期消火対策

1

③電気火災防止対策

1

④防犯対策等の出火防止対策

1

⑤延焼拡大防止対策

1

⑥落雷対策

1

3 追加防災設備（案）の比較検討

6

2で抽出された追加防災設備（案）について、①～⑥毎に簡易比較表を作成し最適案を選定する。簡易比較表の内容は、コメントにより一般的な工法概要と選定経緯を整理した一覧表を想定。

①火災の早期覚知

1

②初期消火対策

1

③電気火災防止対策

1

④防犯対策等の出火防止対策

1

⑤延焼拡大防止対策

1

⑥落雷対策

1

4 最適追加防災設備（案）の条件整理

24

3で選定された時計台に最適と判断される追加防災設備（案）について、①～⑥毎に以下の条件整理を行う。（文化庁および保存活用検討委員会での協議資料PPT作成）

・1) 工法概要・設置イメージ図（場所・数量・規格・設置基準）

6

・2) 関連して既存設備改修・新設が必要な設備の抽出

3

・3) 概算工事費（工期算定、参考見積もり作成含む）

3

・4) 他案との差異（優位点等）

3

・5) 文化財建造物への影響（意匠・現状変更等）

3

・6) 休館せずに設備改修が可能かの判断（施工方法・概算工期・作業範囲）

3

・7) 追加整備に向けた要検討事項及び懸念事項の抽出、時計台防災管理改善への提

3

5 電気設備検討

2

・選定された最適追加防災設備（案）にて、時計台の防火対策を整備した場合に必要な既存電気設備の改修内容を整理する（施設電気容量・機器電源供給・非常照明等）

2